

事務事業名	耕作放棄地解消事業		会計	一般会計	実施区分	継続			
			事業種別	政策	開始	22 終了			
H29作成課等名	農業課	H29係等名	農村振興係	H28担当課等名	農業課				
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり						
目的	対象(誰・何を)	耕作放棄地			対象指標	指標名及び単位	28年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	再生利用する				耕作放棄地面積(ha)	679		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	耕作放棄地解消面積(ha)			3	1	2	1	
	成果指標	再生交付金事業実施面積(a)			100	21	150	80	
	定性目標								
事業概要	<p>農業振興地域内の荒廃した農地の再生作業(障害物除去、深耕、整地等)を耕作放棄地再生利用交付金を活用し、実証ほ場として市が実施する。再生作業後は耕作者を確保し農地として活用してもらい、展示・PRをし、耕作放棄地対策の気運を高める。実際には、耕作放棄地対策協議会である飯田市農業振興センターが事業主体となり、補助残部分を市が負担する。</p> <p>H28～農地利用集積円滑化事業を統合 農地利用円滑化事業はJAみなみ信州が円滑化団体として実施している業務であることから事務事業を廃止。 耕作放棄地となる前の農地流動化を促進するための取組であることから耕作放棄地に統合。</p>								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 再生交付金を活用した耕作放棄地再生面積 耕作放棄地調査結果に基づく農地所有者の意向調査の実施 地区農業振興会議と連携した新たな担い手とのマッチング				1 耕作放棄地解消面積		1 80.77a		
	2 農地中間管理事業業務受託(市町村受託業務) 耕作できない農地の借受・貸出希望者の受付及びマッチング 農地集積協力金の交付				2 借受希望件数 貸出希望件数 担い手へ集積した面積		2 68件 22件 707a		
	3 農地利用集積円滑化団体(JA)等との連携による農地情報の共有及び マッチングの検討				3 回数		3 5回		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		185	1,348	1,323	0	(県)農地集積協力金事業補助金(国10/10) (そ)諸収入(農地中間管理業務受託料)			
国庫支出金			750						
県支出金			410	465					
起債									
その他		185	185	188					
一般財源			3	670					
人件費計(千円)②		0	0	0	0				
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		185	1,348	1,323	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	耕作放棄地再生交付金を活用して、80aの耕作放棄地及び営農開始のための施設整備に対して支援した。農地中間管理機構へ貸出の申出のあった農地について、借受希望者とのマッチングを行い7haが中間管理事業により担い手に集約された。H26の耕作放棄地調査で集団利用できそうな農地について、所有者の意向確認に取組んだが、思うような成果につながっていない。								
改革改善の考え方	①問題点	耕作放棄地となる前の農地流動化を推進するため、国の農地中間管理事業を活用するための体制づくりを行う必要がある。地域としても重要な課題であることから、地区まちづくり委員会との情報共有、連携が求められている。							
	②改革提案	人・農地プランの中心となる経営体との話し合いの機会を設け、規模拡大における課題を明らかにし、新たな担い手へ集約していく上で必要な支援策についても検討していく必要がある。							